

研究・調査報告書

| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
|--|--------|--------------------------|
| A-39C | 24-072 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| Cigarette Smoking, Alcohol Consumption, and the Risk of Thyroid Cancer in Japan: The Japan Public Health Center-Based Prospective Study 日本における喫煙、飲酒および甲状腺がんリスク : JPHC 研究 | | |
| 執筆者 | | |
| Tanitame M, Inoue M, Yamaji T, Iwasaki M, Tsugane S, Sawada N. | | |
| 掲載誌 | | |
| Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2025 Feb 6;34(2):317-323. doi: 10.1158/1055-9965.EPI-24-0975. | | |
| キーワード | | PMID |
| 喫煙、飲酒、甲状腺がん | | 39665552 |
| 要旨 | | |
| <p>背景: 喫煙と飲酒はがんの原因として確立されているが、ほとんどのコホート研究とメタアナリシスでは、甲状腺がんリスクとの逆相関が報告されている。しかし、甲状腺がんの組織型が欧米と異なるアジアでは、この可能性を示す疫学的証拠は限られている。本研究では、日本人における喫煙または飲酒と甲状腺がんリスクとの関連を検討した。</p> <p>方法: 日本公衆衛生センターベース前向き研究に参加した日本人 101,849 人のデータを解析した。喫煙と飲酒は、ベースライン時に自記式質問票を用いて評価した。Cox 比例ハザード回帰モデルを用いて、喫煙および飲酒状況による甲状腺がんハザード比 (HR) と 95%信頼区間 (CI) を推定した。</p> <p>結果: 平均 18.7 年の追跡期間中に、232 例の甲状腺がん罹患を同定した。非喫煙者と比較した 20 箱/年以上の現在喫煙者の甲状腺がん HR (95%CI) は 0.45 (0.23-0.88) と有意に低かった。一方、エタノール 300g/週以上の現在飲酒者の甲状腺がん HR は、非飲酒者に比べ 0.81 (0.33-1.97) であり、統計学的に有意な関連を認めなかった。</p> <p>結論: 日本人を対象とした検討の結果、喫煙と甲状腺がんとの間に逆相関が観察された。一方、飲酒を甲状腺がんとの逆相関が示唆されたが、統計学的には有意ではなかった。さらに大規模な検討が必要と考えられる。</p> | | |